

# 西小っ子だより

【校訓】 直く 正しく 美しく

たつの市立揖西西小学校  
〒679-4023  
たつの市揖西町住吉142番地  
Tel 0791-66-0021  
Fax 0791-66-2613  
発行責任者 校長 新家 洋一

## 今年も よろしくお願ひします



2025(令和7)年となりました。今年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、本日、始業式を行いました。新しい年を迎え、また、4月の新しい学年への進学、進級に向けて、子どもたちはやる気に満ちた表情で、この日を迎えてくれました。2学期の終業式で話しましたが、こんな1年にしたい、こんなことができるようになりたいと、それぞれが目標を立ててくれているはずですが、どのような目標を立てたか全員に尋ねてはいませんが、いずれにせよ、その目標の達成に向けて努力することが重要です。きっと、頑張ってくれるに違いないと、子どもたちの顔を見て感じました。

年は改まりましたが、学校としてなすべきことは変わりません。

直く  
(素直な心)

おうちの人や地域の人、先生方のおっしゃることをよく聞いて、素直な心でしっかり勉強しましょう

正しく  
(正しい心)

自分も、お友達や周りの人も大切にし、正しい心(まちがったことをしない、許さない)で毎日の生活を送りましょう

美しく  
(美しい心)

ふるさとの人や自然を愛し、元気なあいさつを心がけ、身の周りを美しく整えて、心も体も、ともに健康な生活を送りましょう

上記の校訓のもと、今年も学校経営方針の基本的な考えである「豊かな学びと豊かなつながりのある学校」づくりに努めて参りますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひします。

### 森の木のおつばやき Vol.23

健康の森から、いつも西小っ子を見つめている森の木のおつばやきです～

あけましておめでとうございます。元気な西小っ子たちに会えて、とても嬉しいよ。今年はどうな1年にしたいのかな。何をがんばろうと考えているのかな。どんな目標を立てたのかな。また、森の木にも教えてくださいね。

さて、今日は、3学期の始業式でした。いつも言われているけれど、3学期は、学年の締めくくり、そして次の学年への準備の学期です。次の学年(6年生は中学校進学)に向けて、いいスタートが切れるよう、がんばろうね。(つづく)



《12月5日(木) 6年「大地の変化」の学習～STEAM教育～》  
昨年度同様、兵庫県立大学 名誉教授(

)に教えていただきました。岩石や地震のメカニズム等のお話や実験で、科学を学ぶ楽しさを実感できた授業でした。



《12月17日(火) にこにこ学級「居住地校交流」》

揖西西小校区に居住する西はりま特別支援学校の児童2名を、にこにこ学級の児童が「クリスマス会」に招待しました。楽しい活動をとおして、同じ校区に住む友だちと交流を深めました。



### 目の前の命を救うために、どう行動するか～PTA教育講演会 [11月22日(金)]

11月22日(金)のオープンスクールの際、「親子で学ぶ心肺蘇生法」をテーマに5・6年児童も参加して、PTA教育講演会を開催しました。まず、はりま姫路総合医療センター救急科の医師に「ドクターヘリ 救命救急の最前線」と題して講演をしていただき、続いて、西はりま消防組合の救急救命士のみなさまの協力のもと心肺蘇生法講習を実施しました。主に子どもたちに向けてのお話と実技でしたが、子どもたちの学ぶ姿を見ながら保護者のみなさまも一緒に学習しておられました。救命の現場では、医師、看護師、救急救命士、ドクターヘリの操縦士等々、多くの人たちが連携して命を救うために行動されていますが、そこに至るまで、すなわち通報や救急車が到着するまでの初期対応が大変重要です。子どもたちには、救命の連携は自分たちの行動から始まることを覚えておいてほしいし、ここで得た知識や技能を将来に役立ててほしいと、心から思います。





# 地域をつなぐ、地域に感謝する

～地域の中で豊かな心を育むー「ふるさとへの誇りと愛着を」～

## 《11月30日(土)「地区訪問継走」》

今年で71回目の地区訪問継走でした。

多くの地域、保護者、警察、消防等のみなさま方のご支援のもと、天候にも恵まれ、また昨年引き続き中学生チームの参加もあり、大いに盛り上がりました。さらに地元企業の 株式会社の協賛を得てお菓子セットを参加賞として配付したり、 病院の院長先生に救急対応のため最後尾車に乗っていただいたり、地域のみなさまがコース脇で声援を送ってくださったり、まさに地域が一つとなって支えていただきました。市長さま、副市長さまも来校してくださり、 市長さまから、励ましのお言葉を賜りました。タスキで校区内の集落を一つにつなごうと始まった地区訪問継走の趣旨に相応しい大会となりました。

本校では、ふるさとへの誇りと愛着を育む「ふるさと教育」を教育方針の柱の一つに掲げており、これからもあらゆる機会をとおして、ふるさとを大切に思う心を養っていきたくと改めて思いました。



【写真】①開会式での市長挨拶 ②～⑤継走の様子  
⑥⑦閉会式、大会会長から賞状等授与 ⑧中学生チーム

## 《12月7日(土)「子どもの人権交流なかよしコンサート」》

今年も、構教育集会所に多くの人々が集いました。新企画の「子どもパフォーマンスコーナー」では、本校児童がバイオリン演奏や体操、ダンス、空手の技を、中学生がダンスや柔道の技を披露しました。さらに本校3年生が、クイズやリコーダー演奏で盛り上げました。その他、家族と一緒にフリーマーケットに出店したり、クッキング講座生がキッズカフェで参加者をもてなしたり、子どもたちが大活躍の一日でした。また龍野西中吹奏楽部の素晴らしい演奏や、さんの歌のコーナーとそこへの子どもたちの飛び入り参加等もあって、みんなが笑顔に包まれた楽しいコンサートでした。



## 《12月13日(金)「にこにこ感謝祭(西っ子感謝祭)」》

体験学習やフィールドワーク時の講師として、また登下校時の見守り等、平素からお世話になっている地域のみなさま方を招待して開催しました。

みなさまから学んだことをクイズにした「〇×ゲーム」(写真左)や「じゃんけん列車」で楽しいひとときを過ごした後、感謝の手紙をお渡し(写真右)しました。閉会に際し、

さまから温かいご挨拶も賜りました。多くの方に来校いただき、子どもたちの心に残る会にさせていただいたこと、心より感謝申し上げます。



桜の木は、一から二週間の短い花の時期のために、残りの長い月日は栄養を蓄えることに専念し、花を咲かせる準備をしている。その準備期間が重要なのだ、そのような生き方を人も学ばなければならぬ、作者は言っています。そのとおりだと私も思います。しかし中には、美しい花を咲かせる期間の努力の結果とのみ捉え、殊更それを強調する人がいます。私は、その考えには与しません。なぜなら「努力は必ず報われる」とは言えないから。結果ばかりに目がいくと、「どうせやってもできないから」と努力を軽んじる言葉が出てきてしまうから。結果はどうであれ、努力してきたことは決して無駄にはなりません。私は、美しい花は努力の結果だけではなく、その過程で培われてきた心の輝きでもあり、考えたのです。春には、「輝く樹の心」を感じながら、桜の花を愛でたいと思っています。

忘れられていたときが  
自分を見つめ 充実させるときであることを  
樹は知っている

忘れられて  
静かに過ごす樹の心を  
学ばなければならぬ

忘れられて  
花を散らしたあとは  
忘れられている さくら

今月の詩 — せひご家族と一緒に、お読みください

樹の心

高田 敏子